



一笑懸命

49 回生 年次通信 2024年7月 22 日 第14号



主任より

早いもので、もう夏休み。「夏休みを制するものは、受験を制す」とか「夏休みは受験の天王山」とか、よく言ったものです。「いやいや受験は来年でしょ?」と思う人もいるかもしれませんが、勝負はもう始まっていますよ。準備は早ければ早いほどいいし、苦手科目にじっくりと向き合う絶好の機会です。来年では、時間に追われ、焦りがつのるばかり。今から計画的に進めましょう。夏季課題をはじめ、1 学期の定期考査、7 月模試などの振り返りも同時に行くと復習にもなります。自分のライフスタイルに合わせ、毎日午前中1時間、寝の前2時間、とか時間を決めて、まずは継続するところから始めましょう。かの有名な棋士羽生善治さんは、こう言っています。

「才能とは何かと問われれば、「続けることだ」と私は答える。実はこれが最も難しいのです —羽生善治—

継続って難しい。けど、習慣になればこっちのもの。来年の夏は、きっと自分でコントロールし、余裕をもって取り組めるようになっていくことでしょう。そうなれば、自分の未来が変わるかもしれませんね。

12号の一言 **「ともかく具体的に動いてごらん 具体的に動けば具体的な答えがでるから —相田みつを—**

13号の一言 **「やれるかやれないかでなくて、自分次第 —大谷翔平—**

「自分はできる」と信じ、まずは行動に移してみましょう。そして継続してみましょう。それを決めるのは自分だけ。他の誰でもありません。

Y 先生より

～チャレンジを続ける夏～

2年次がスタートし、早いもので3か月半が過ぎ、夏休みを迎えようとしています。新しい環境での生活をそれぞれが頑張り、成長している姿を日々感じています。多くの部活動では 3 年次から最上級生としての役割を引き継ぎ中心となって活動していく中で後輩から慕われる、尊敬してもらえる先輩となれるよう頑張ってください。

夏休みには、「やるべきこと」がたくさんあります。「やるべきこと」をしっかりやるのは当たり前。ただ、「やるべきこと」に埋もれて「やりたいこと」に手を付けることができないようなつまらない夏休みにはしてほしくありません。ぜひ、「やりたいこと」にチャレンジしてください。「やりたいこと」とは、ドキドキするような不安と、ワクワクするような期待感という、相反する2つの感情がセットで感じられるようなことです。大人になってからではなかなかチャレンジする時間もなく、今しかできないことに全力でトライしてほしいと思います。

つまらない夏休みにしないために必要なことの1つ目は、計画を立てることです。何をいつまでに終わらせる期限を決めることができているならば、おのずと、毎日どれくらい進めればいいのかが見えてきます。少しずつ継続的にいき、目標を達成する習慣を身につけてください。

そして、もう1つ大切なことが「やるべきこと」と「やりたいこと」を区別しないこと。「やるべきこと」が終わらないと「やりたいこと」をやってはいけないではなく、「やるべきこと」の中に「やりたいこと」を入れてください。「やるべきこと」の中心に「やりたいこと」を置き、目標を見失わずに30日間過ごしてください。そして、残りの10日間は、夏休みらしく思い切り遊んだと思える日にしたり、ここまで頑張った心と体を休める時間に使ってください。

2学期には服装・頭髪検査もあります。この夏休みで乱れないように年次としても気を引き締めていきましょう。

9月行事予定

	内 容	食堂
2日(月)	始業式 大掃除	×
3日(火)	課題考査(1限英語 2限国語) 面談週間 45分×6	○
4日(水)	月曜日の授業 面談週間 45分×7	
5日(木)	面談週間 45分×6 ~6日(金)	
12日(木)	カウンセリング	
18日(水)	カウンセリング	
25日(水)	体育祭準備(放課後)	
26日(木)	体育祭予行(4コマ)午後準備(雨天4コマ授業)	
27日(金)	体育祭(雨天6コマ授業)	